

もっと豊かな社会づくりに貢献する

日本国土開発株式会社

経営企画室つくば未来センター技術経営グループ (国代)

☎ 03-5410-5683

URL http://www.n-kokudo.co.jp/tec_civil/index.html

✉ koichi.tashiro@n-kokudo.co.jp

最終処分場の延命化に！ 動圧密工法、 リフューズプレス工法

動圧密工法は、重量10～25t程度の鋼製ハンマーを、10～25mの高さから繰り返し自由落下させ、地表面に衝撃を与えることによって地盤を締め固めるシンプルな工法です。これを廃棄物の最終処分場に適用することで廃棄物を減容化させ、処分場の延命化を実現します(例 廃棄物を23.1%圧縮させ7年の延命化を実現)。

騒音や振動に留意しなければならない市街地等での対応には、特殊なスクリュウオーガーを回転・圧入して、「静的」に廃棄物を減容化できるリフューズプレス工法を御提案いたします。



動圧密工法



リフューズプレス工法

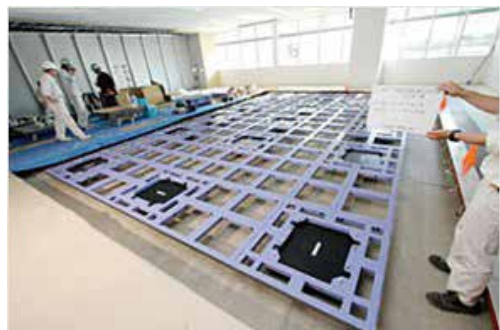


コンクリート建造物の 長寿命化に！ ハイブリッドエポキシ

コンクリート建造物の補修補強に多用されるエポキシ樹脂に、陰イオンを吸着固定化する機能性吸着材を添加した製品で、コンクリートの補修補強と塩害対策を同時に行うことができます。

独自技術で 既設建物の一部を免震化！ ゆれガード (低床免震システム)

ゆれガードは、免震装置とユニット化された床部材から構成され、床表面仕上げ材までの高さを190～200mmと低く抑えているため既存の建物に適用しやすい仕様になっています。



土構造物の防災対策に！ 回転式破碎混合工法 (ツイスター工法)

多発する豪雨災害に対し、河川堤防の築堤や再構築に当工法が活躍しています(例 鬼怒川)。

この工法は、現地のあらゆる性状の土を改良し、そのまま現地の工事に使用するため、他所から土の運搬や購入をする必要がありません。また一度に大量の土を混合・改良できるため工事の期間を短くすることが出来ます。